

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業 ていだのふぁ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 20日		～ 令和8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 22人	(回答者数)	19人
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 20日		～ 令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 11人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもが安心し、楽しく通所できる環境づくりが行われている。	・毎日異なる活動を組むよう心がけている。 ・歌やお話からごっこ遊びに繋げる支援を行っている。	・子ども達の好きな物を見つけながら盛り上げていけるよう工夫する。
2	・子どもたちの様子や発達など保護者さんとたくさん話せるような時間を作っている。	・朝や帰りに保護者さんと日々の様子を伝えあっている。 ・ノートで活動したことをお伝えしている。	・職員間で子どもたちの様子を伝え合い保護者対応する職員に伝えてもらう。 ・悩み相談しやすいようコミュニケーションを取る。
3	・個別支援や集団支援がマンネリ化しないよう違う教材を使って行っている。	・子どもに合わせた支援ができるよう苦手な部分などを話し合う。 ・たくさんの教材を使用。	・保護者の方から苦手な部分などを聞き日々の活動に取り入れていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流できる場が少ない。	・行事では集まるが話す場、時間がなかなか作れていない。	・保護者さん同士の交流の場、時間が作れるよう検討。
2	・ペアレントトレーニングや家族(兄弟)が参加できる場が少ない。	・ペアレントトレーニングについて、職員の学び不足。 ・親子で参加の行事はあるが少ない。	・ペアトレーニングの理解を深められるよう学ぶ場を作る。
3	・避難訓練の実施お知らせなどもう少し伝える。	・実施の様子はノートでお知らせしているが伝わりきれていない。	・通信でお知らせするなど伝わるよう工夫する。